

# 働く

2021年度の道内の最低賃金(最賃)は、現行の861円から28円引き上げ、889円となることが決まった。引き上げ額が過去最高となる一方、観光や飲食など新型コロナウイルスの影響

# 889円

響が続く業界もある。北海道地方最低賃金審議会で労働者側、使用者側の代表委員として審議に参加した2人に、改定額の受け止めや今後の方向性について聞いた。(尾張めぐみ)

## 道内最低賃金28円引き上げ 受け止め方は

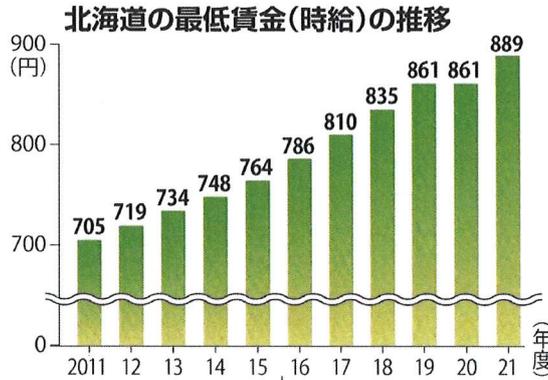
### 生活でできる水準まだ届かぬ

道内では昨年、最低賃金が17年ぶりに据え置きされ、全国平均の902円と41円もの差が生じていました。これらを踏まえると、中央最低賃金審議会が示し



連合北海道組織労働局長 山田 新吾さん(54)

連合北海道組織労働局長 山田 新吾さん(54)



北海道経済連合会労働政策局長 桑原 崇さん(62)

北海道経済連合会労働政策局長 桑原 崇さん(62)

今回の改定には驚きました。28円という引き上げ額は、あまりに大きいからです。コロナで先行きが不透明な中、北海道の主要産業である食や観光に関連す

### コロナ下の業績悪化に拍車

た28円という引き上げ額の目安に、1円でも上乗せしなかったというのが正直な気持ちです。改定額の889円は過去最高額ですが、この賃金では平日フルタイムで働いたとしても、年収は180万円ほど。ワーキングプアの目安となる年収200万円に届きません。普通に働くだけでは、かなり苦しい生活になってしまいます。労働対価として支払うなら生活できる水準で支払うべきなのに、実現されていません。

コロナ下で苦しい業種があることは理解しています。ただ、そうした企業にはさまざまな助成制度があります。例えば、時給が最も低い従業員の賃金を一定額引き上げた企業に出す国の「業務改善助成金」は、道内の昨年度の利用件数が18件にとどまっています。企業はこうした制度を使いながら、設備投資などで生産性を上げ、最賃も引き上げていくべきだと思います。

る業界は厳しい状況が続いています。実態に合わない最賃の引き上げで、これまで何とか頑張ってきた経営者の心は折れてしまう。休廃業が増えることを懸念しています。

でに十分な人手を確保しきれないとのことでした。財務省が5月に公表した調査結果によると、北海道で平常時と比べて売り上げが減少した企業の割合が67%に上りました。コロナ下では企業の業績が二極化した「K字経済」と言われています。観光の比重が大きい道内は、他地域よりコロナの影響を大きく受けている企業が多いのです。

今年の決定を受けて、道内のアパレル関係の経営者から「閉店を考えるようになった」との声が寄せられました。パートやアルバイトの時給が上がり、経営を圧迫するためです。さらに、配偶者控除を受けられるよう働く時間を減らす人が出てくるため、穴を埋める新たな人手が必要となります。でも、人を増やせば人件費が膨らむし、引き上げられる10月ま

中小企業やコロナで大きな影響を受けた業種は、最賃に近い給料で働く労働者を雇用しているの、引き上げの影響も大きい。本来、最賃の引き上げは生産性が上がって初めてできるものです。来年以降は実態を踏まえた審議がなされてほしいと思います。